

Minamiuwa 青春！食育！ high school

～農業科活動日記～

南宇和高校

1年：市村 彩羽
金平 麻佳
清水 朱里
瀨野 澪
和田 早希



コンテスト入賞の様子
左から：清水さん、金平さん、
市村さん、瀨野さん、和田さん



彩よかよか
三色おにぎり



保育園児との
田植え、収穫



【感想】

南宇和高校には普通科と農業科があり、地域との交流も盛んに行っています。農業科では季節の野菜や柑橘などを平山農場で作り販売を行ったり、花をオレンジロードの花壇に植えたりしています。毎年行っている田植えでは、保育園児と一緒に苗を水田に植え、収穫も行いました。また、その時収穫したお米を使った「彩よかよか三色おにぎり」を料理コンテストに応募し、見事3位に入賞しました。これから毎月、農業科の取り組みを紹介していきます。今年も田植えを行う予定にしています。興味のある方は、ぜひ一緒に植えてみませんか？



食育アカデミー

もう一つの郷土の「食」文化！
ばらぬき歌（骨抜き唄）

深浦漁港には、季節になると多くのカツオが揚がります。昭和の初頭、町内漁村部では、カツオを使って、鯉節製造が盛んに営まれていました。このばらぬき唄は、鯉節製造工場で働いていた女工さんたちが、かつおの骨（ばら）抜き作業時に場を盛り上げ、効率を上げるために歌われたものです。

ばらぬき唄（骨抜き唄）
ハアー 大漁大漁が三年つづきや
ハアーヨイヨイヨイ
深浦港は花さかり
ハアーヨイヨイヨイ
ハアー 沖の鯉じゃわしやなけれど
ハアーヨイヨイヨイ
さまに釣られて抱かれない
ハアーヨイヨイヨイ
※一部抜粋（即興も含め様々です）



納屋での鯉の
ばらぬき作業風景

編集後記

真鯛の出荷取材しました。初めてみる出荷作業、その洗練された流れ作業から目が離せません。次々と鯛が活魚車に運ばれていきます。勝手な思い込みで活魚車のなかを悠々と泳ぐ鯛を想像していましたが、実は活魚車には8～10尾ずつ鯛が詰められた箱がそのまま積まれるのだそうです。

広報担当になって1年、いろんな初めてを経験させてもらっています。それを少しでもわかりやすくお届けできるようにこれからも学んでいきたいと思います。 ㊦

特集記事の取材をする際には、あらかじめ質問事項を決めていきます。取材に協力していただいた方に時間をとらず、効率的に取材をするためです。

しかし、いざ取材をする場面になると、話題が本筋からずれてきたときなどに興味深い話が聞けることもあり、記事の内容が当初イメージしていたものとは少しずつ異なってきます。

骨格となる話と余談。その両方を取り上げ、バランスよく伝えられるよう努めたいと思います。 ㊦



愛南町の世帯数と人口

平成 29年 3月 1日現在

世帯数 10,523 世帯（-16世帯） 男 10,606 人（-17人）

人口 22,505 人（-34人） 女 11,899 人（-17人）

※（ ）内は前月比

※（ ）内は前月比

●愛南町の高齢化率 39.8%

●10年前 同月の人口 27,273 人

それいけ 愛南ぎょレンジャー



～レッド VS アカの巻～



制作：南宇和高校美術部 藤田 夏海さん

南宇和高校美術部による愛南ぎょレンジャーやなーしくんの4コマ漫画を掲載します。

■編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 TEL (0895) 72-1211 FAX (0895) 72-1214

<http://www.town.ainan.ehime.jp/>